

令和5年2月定例会議事録

令和5年2月7日

鹿屋市教育委員会

○日 時 令和5年2月7日(火)
15時から17時まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	蓑 田 繼 男
教育委員	早 川 雅 子
教育委員	東別府 睦
教育委員	遠 矢 達 一

○関係者

教育次長	稲 村 憲 幸
教育総務課長	川 越 太
学校教育課長	新 屋 公 彦
生涯学習課長	山 口 良 二
教育総務課課長補佐	曾 原 学
教育総務課総務係長	久木田 圭 介
鹿屋看護専門学校事務長	吉 永 和 広

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
 - (1) 議案第17号 鹿屋市教育長職務代理者の指名について
- 5 報告
 - (1) 令和4年度鹿屋市一般会計補正予算について
 - (2) 令和4年度鹿屋市立看護専門学校入学試験結果報告について
 - (3) 第41回鹿屋市美術展について
 - (4) 第75回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）について
 - (5) 令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件名	審議の状況	採決次第
議案第17号	鹿屋市教育長職務代理者の指名について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>新型コロナウイルス感染者の報告者数が減り、落ち着きを感じられて大変嬉しく思う。本日は、鹿屋市美術展や優良公民館表彰など明るい報告がある。また、昨日と本日の午前中に県庁での会議に出席したが、徐々に本格的に元の活動が戻ってきていると感じられて大変嬉しく思う。</p> <p>さて、2月15日の任期をもって蓑田委員が、教育委員を退任する。そのため本日の定例教育委員会が最後となる。蓑田委員は、平成27年2月からの8年間、本市教育行政のためにご尽力いただいた。また、先日は、教育実践発表会においてしっかりと締めくくりをしていただき、発表の実践内容が、より一層価値づけられたと大変ありがたく思う。改めてお礼を申し上げる。</p> <p>後ほどご挨拶をいただく。 本日も宜しくお願ひしたい。</p>
2	前回の議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
教育長	報告なく承認
4	議事
教育総務課長	(1) 議案第17号 鹿屋市教育長職務代理者の指名について 資料に基づき説明
教育長	蓑田委員の後任として、職務代理者を早川委員にお願いしたい。
早川委員	承認
5	報告
教育総務課長 学校教育課長 生涯学習課長	(1) 令和4年度鹿屋市一般会計補正予算について 資料に基づき説明 資料に基づき説明 資料に基づき説明

早川委員	学校教育課の「奨学資金寄附金」の活用方法について伺いたい。
学校教育課長	岩崎育英財団から、奨学資金として活用することを指定された寄附金で、有効活用できるように今後検討する。
早川委員	「学校給食に要する経費」の減額補正について詳しく説明を伺いたい。
学校教育課長	就学援助費の対象となる家庭の、児童数を例年の実績から見積もっているが、今年度の就学援助費対象の児童数が、見込みよりも少なかったことから、給食費に充てる予算が余ったということである。
教育次長	人数的な見込みが少なく済んだということと、実績払いであり、コロナ禍の影響で、欠席や学級閉鎖で給食を食べなかったこともある。それについての費用は発生しないので、実績としてまとめて減額補正をしたということである。
養田委員	アレルギー対応もあり大変だと思うが、各学校給食センターでは、1日何食分の給食を作っているのか。
教育次長	各学校給食センターの能力的には、南部学校給食センターが6,000食で、北部学校給食センターが4,000食だが、実数としては南部学校給食センターが約5,900食、北部学校給食センターが約3,800食となっている。吾平学校給食センターは、約700食を調理している。鹿屋市の児童生徒数は約9,600人なので、余裕を持って運用できている。
	(2) 令和4年度鹿屋市立看護専門学校入学試験結果報告について
鹿屋看護専門学校事務長	資料に基づき説明
早川委員	A日程で不合格だった場合は、B日程で受験が可能なのか。
鹿屋看護専門学校事務長	可能である。例年、A日程で不合格だった受験生がB日程を受験するが、今回は受験者がいなかった。B日程の受験者は、鹿屋高校や志布志高校など進学校の生徒が受験するが、今年は、鹿児島国際大学に看護学科が新設されたことが要因ではないかと考える。

	<p>(3) 第41回鹿屋市美術展について</p>
生涯学習課長	資料に基づき説明
教育長	今年度は短縮版ではあったが、オープニングセレモニーを開催でき、直接表彰することができて良かった。大賞作品は、毎年買い取りをしているようだが、その後はどのように扱っているのか。美術展以外でも素晴らしい作品を市民に見ていただけるようにしてほしい。
生涯学習課長	大切に貯蔵しており、計画的にリナシティのギャラリースペースに入れ替えて展示している。
東別府委員	展示してある受賞作品を見ると、子ども達の作品が少ないように感じるが、厳選された作品のみ展示しているのか。
生涯学習課長	受賞作品すべてを、展示スペースのバランスを考えて展示している。子ども達のエネルギーになる機会でもある。その点は反省点として出ており、今後はもう少し作品数を増やすことも検討していきたい。
	<p>(4) 第75回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）について</p>
生涯学習課長	資料に基づき説明
	<p>(5) 令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰について</p>
生涯学習課長	資料に基づき説明
早川委員	コミュニティ・スクールにおける活動は、その学校だけで終わらせることはもったいないと思う。今後は、他の学校も一緒にレベルアップするために、マニュアル化などを検討してはどうか。コミュニティ・スクールは、特に管理職の能力を要求されるが、ただ任せるのではなく、そういう能力を養成することも必要ではないか。
学校教育課長	コミュニティ・スクールについては、学校教育課で管理職研修会や、校長研修会等で指導をしており、一番大事なポイントは、学校運営協議会を設置し、その学校運営協議会の委員の方々と一緒になって共同経営をしていくことである。そのことをまず管理職がしっかりと理解す

教育長	<p>ることが大事であり指導をしている。</p> <p>鹿屋市は、全学校がコミュニティ・スクールになっている。市が各学校の学校運営協議会の委員を任命し、校長の運営方針の承認や意見を出して、共同経営をすることと、教育委員会等に対して運営協議会として意見をすることができる組織である。しかし、協力という感覚で、共同経営までに至っていないところがあり、現在、指導を行っているところである。</p>
6	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
7	その他
学校教育課長	<p>「命の安全教育に関する職員や児童生徒向けの動画について」</p> <p>資料に基づき説明。</p>
教育長	「鹿屋風土記の現状報告について」
生涯学習課長	資料に基づき説明。
教育長	次回の定例教育委員会は、令和5年3月15日（水）10時00分から教育長室で行う。
8	閉会
教育長	<p>以上をもって2月定例教育委員会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>